



沖縄地区税関 管内貿易概況（速報）

令和4年2月分

※税関は150周年を迎えます。

（増減・伸率は対前年同月比）

●今月のポイント

● 輸出

・輸出総額は262億77百万円、対前年同月比19.6倍（2ヵ月ぶりの増加）

- ・主な増加品目は「再輸出品」（158.3倍）、「石油製品」（全増）、「一般機械」（64.5%）
（主な減少品目は「金属鉱及びくず」（▲82.4%）、「精密機器類」（全減）、「魚介類及び同調製品」（▲75.2%））
- ・国（地域）別構成比は韓国（83.4%）、オーストラリア（13.1%）、台湾（1.1%）、香港（0.6%）、アメリカ（0.3%）

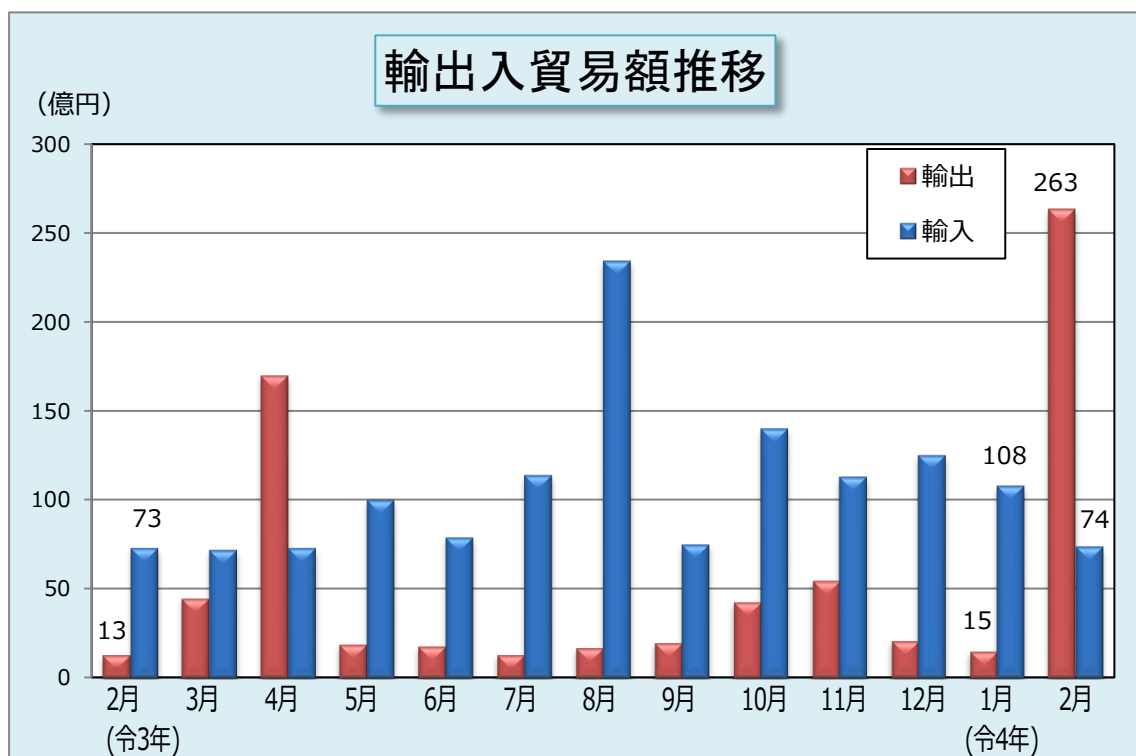
● 輸入

・輸入総額は73億84百万円、対前年同月比1.0%増（5ヵ月連続の増加）

- ・主な増加品目は「石炭」（2.4倍）、「その他の動植物性原材料」（29.7倍）、「木製品及びコルク製品（除家具）」（2.2倍）
（主な減少品目は「一般機械」（▲74.2%）、「石油製品」（▲97.5%）、「その他の雑製品」（▲27.5%））
- ・国（地域）別構成比はインドネシア（27.4%）、アメリカ（15.7%）、中国（14.5%）、イタリア（4.9%）、マレーシア（4.5%）

● 差引

・差引額は188億93百万円の出超（前年同月は59億70百万円の入超）



1. 輸出動向

(1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(地域)(金額・伸率)
1 再輸出品 (218億75百万円、158.3倍)	83.2%	韓国(218億34百万円、全増) アメリカ(21百万円、18.9倍)
2 石油製品 (33億25百万円、全増)	12.7%	オーストラリア(33億25百万円、全増)
3 一般機械 (3億49百万円、64.5%)	1.3%	オーストラリア(1億8百万円、全増) 台湾(58百万円、42.1%)
4 パルプ及び古紙 (2億20百万円、57.4%)	0.8%	台湾(1億52百万円、94.6%) インドネシア(34百万円、25.9%)
5 飲料 (1億24百万円、11.3%)	0.5%	台湾(55百万円、67.3%) アメリカ(46百万円、3.3倍)
<p>増加品目(増加額・伸率) 主な増加国(地域)</p> <p>1 再輸出品(+217億37百万円、158.3倍) 韓国、アメリカ</p> <hr/> <p>2 石油製品(+33億25百万円、全増) オーストラリア</p> <hr/> <p>3 一般機械(+1億37百万円、64.5%) オーストラリア、中国</p> <hr/> <p>減少品目(減少額・伸率) 主な減少国(地域)</p> <p>1 金属鉱及びびくず(▲3億43百万円、▲82.4%) 台湾、ベトナム</p> <hr/> <p>2 精密機器類(▲58百万円、全減) シンガポール、韓国</p> <hr/> <p>3 魚介類及び同調製品(▲16百万円、▲75.2%) 香港</p> <hr/>		

(2) 主要国(地域)別動向

国(地域)名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 韓国 (219億10百万円、139.6倍)	83.4%	再輸出品(218億34百万円、全増) 金属鉱及びびくず(52百万円、30.4%)
2 オーストラリア (34億51百万円、187.2倍)	13.1%	石油製品(33億25百万円、全増) 一般機械(1億8百万円、全増)
3 台湾 (2億83百万円、▲19.3%)	1.1%	パルプ及び古紙(1億52百万円、94.6%) 一般機械(58百万円、42.1%)
4 香港 (1億64百万円、45.6%)	0.6%	肉類及び同調製品(81百万円、58.7%) 一般機械(21百万円、全増)
5 アメリカ (67百万円、3.4倍)	0.3%	飲料(46百万円、3.3倍) 再輸出品(21百万円、18.9倍)

2. 輸入動向

(1) 主要品目別動向

品名(金額・伸率)	構成比	主要国(地域)(金額・伸率)
1 石炭 (16億42百万円、2.4倍)	22.2%	インドネシア (14億91百万円、3.7倍) ロシア (1億51百万円、2.1倍)
2 肉類及び同調製品 (8億23百万円、7.2%)	11.1%	デンマーク (1億90百万円、▲37.1%) ブラジル (1億84百万円、6.7倍)
3 木製品及びコルク製品(除家具) (4億40百万円、2.2倍)	6.0%	マレーシア (3億14百万円、2.5倍) インドネシア (47百万円、80.1%)
4 電気機器 (4億26百万円、80.5%)	5.8%	アメリカ (2億38百万円、5.9倍) 中国 (1億35百万円、▲11.1%)
5 その他の雑製品 (4億22百万円、▲27.5%)	5.7%	中国 (1億26百万円、▲5.7%) イタリア (1億15百万円、6.3倍)
<p>増加品目(増加額・伸率) 主な増加国(地域)</p> <p>1 石炭 (+9億70百万円、2.4倍) インドネシア、ロシア</p> <hr/> <p>2 その他の動植物性原材料 (+4億4百万円、29.7倍) インドネシア</p> <hr/> <p>3 木製品及びコルク製品(除家具) (+2億41百万円、2.2倍) マレーシア、インドネシア</p> <hr/> <p>減少品目(減少額・伸率) 主な減少国(地域)</p> <p>1 一般機械 (▲11億56百万円、▲74.2%) ドイツ、オーストラリア</p> <hr/> <p>2 石油製品 (▲8億37百万円、▲97.5%) 韓国</p> <hr/> <p>3 その他の雑製品 (▲1億60百万円、▲27.5%) タイ、フランス</p> <hr/>		

(2) 主要国(地域)別動向

国(地域)名(金額・伸率)	構成比	主要品目(金額・伸率)
1 インドネシア (20億25百万円、4.2倍)	27.4%	石炭 (14億91百万円、3.7倍) その他の動植物性原材料 (4億1百万円、全増)
2 アメリカ (11億62百万円、47.1%)	15.7%	一般機械 (2億76百万円、2.0倍) 電気機器 (2億38百万円、5.9倍)
3 中国 (10億70百万円、▲2.1%)	14.5%	家具 (1億94百万円、23.1%) 電気機器 (1億35百万円、▲11.1%)
4 イタリア (3億64百万円、62.3%)	4.9%	バッグ類 (1億95百万円、63.1%) その他の雑製品 (1億15百万円、6.3倍)
5 マレーシア (3億32百万円、2.1倍)	4.5%	木製品及びコルク製品(除家具) (3億14百万円、2.5倍)

- ◆本資料における貿易額は、管内各官署が管轄する区域に蔵置された貨物の通関額です。
- ◆「再輸出品」とは本邦から輸出する外国産貨物をいい、「再輸入品」とは本邦に輸入する内国産貨物をいいます。
- ◆税関ホームページ内「貿易統計」ページでは、下記資料の検索・閲覧が可能です。
《ホームページアドレス <https://www.customs.go.jp/>》
 - 各種貿易統計データの検索（品目・国・税関ごとの貿易額、船舶・航空機統計等）
 - 財務省及び各税関（地域）の貿易統計発表資料、その他の参考資料
- ◆本資料を引用する場合は、沖縄地区税関の資料による旨を注記して下さい。
- ◆不明な点がございましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

沖縄地区税関 調査部 調査統計課
沖縄県那覇市港町2-11-1 那覇港湾合同庁舎3階
TEL. 098-862-9650



令和4年5月15日に沖縄地区税関は
発足50年を迎えるワン！